

# 別れの言葉

冬の寒さにも終わりを告げ、開花を待つ桜が芽吹き始める暖かい季節となりました。本日はご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、私たち卒業生のためにこのような素晴らしい式典を挙行していただくこと、また、ご来賓の皆様、校長先生、在校生よりも温かい言葉をいただくこと、卒業生を代表して、心より感謝申し上げます。

三年前、有恒高校に入学し、新しい場所にわくわくした反面、勉強についていけるか、クラスに馴染むことができるかなど不安もありましたが、三年経った今では、男女関係なく仲良く話している姿も見られ、卒業をすることが惜しく感じるようになりました。

そんなたくさんの思い出の中でも特に三年生の時の文化祭が一番印象に残っています。一年生、二年生の時は、新型コロナウイルスの影響で、学校に来ることのできる人が制限されたり、クラス企画もステージ発表しかなかったり、自分たちのやりたいことができないうということがありました。ですが、今年はクラス企画があり、他校の友達を呼ぶこともできるようになりました。私たちのクラスはお化け屋敷をやりました。文化祭前日までお化けの配置位置や、どういうルートにするのかも全体に伝わっていなくて、本番までに完成するのかと不安の声が多々ありました。ですが、休み時間や文化祭準備の授業だけでなく、他の授業でも準備の時間を作ってください、本番には私たちだけでなく、お化け屋敷

に来てくれたお客さんも喜んでくれるような満足できる企画となりました。ステージ発表は、一年生から三年生までたくさんの生徒が参加をされていて、他の学年だったり、普段話さないクラスメイトの意外な一面を知りいい機会になりました。

この三年間、私たちを暖かく見守ってくださった地域の皆様、ともに喜び、ときに厳しく叱って私たちを導いてくださった先生方、本当にありがとうございます。皆様の優しさに報いることができるように、社会に出てもからも努力を続けます。

本日、私たちは有恒高校から巣立ち、それぞれの道へ進みます。まだ、何が起るかわかりません。きっと、それぞれの胸のうちには不安があるでしょう。しかし、有恒高校で学んだことはこれから生きる上で力になれるということを確認しています。

有恒高校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれること、また、本日もご来場の皆様のご活躍をお祈りして、答辞とさせていただきます。

# 別れの言葉

(略) 卒業生を代表し、心より感謝申し上げます。

今、三年間有恒高校で過ごした日々を振り返ると様々なことが思い出されます。

期待と不安を胸に有恒高校へ入学してきました。最初はお互いのことが全く分からずクラスに馴染めるか心配でした。しかし、毎日を過ごしていくうちに友達ができ、次第に賑やかな教室となっていました。そして一致団結して頑張った初めての体育祭、励まし合って歩き切った遠足、色々な行事を通して充実した一年となりました。二年生に上がり、後輩ができ、様々な場面で中心的存在になりさらに何事も全力で取り組み、お手本とされるよう頑張りました。そして待ちに待った修学旅行では、長崎原爆資料館へ行き、当時の写真を見て原爆の脅威を知るとともに当たり前の生活がどれだけ平和で尊いものかを感じ、考えることができました。歴史を学ぶ良い機会となりました。またハウステンボスや班別行動をとおして修学旅行で、より一層クラスの仲が深まりました。

そしてあつという間に月日は流れ三年生となりました。有恒高校で過ごすのもあと一年。三年生になり、一番印象に残っている行事は体育祭です。応援リーダーを中心に応援練習を頑張り、本番では息のあったダンスを先生方や来てくださった保護者の方々に披露することができました。競技ではクラス全員と協力し、お互いに応援し合いクラス全体の

士気が高まりました。全校一人一人が輝き主役となった体育祭でした。その他にも今年は初めて文化祭が家族や一般の方々も参加できるようになり、賑やかな文化祭になりました。クラスの企画ではお化け屋敷を企画しました。準備はクラス全員が協力して部屋を暗くしたり手形をつけたりと準備からとても楽しく印象深い思い出になりました。本番では、クラス企画で一位を取ることができとても嬉しかったです。

これらの行事と並行して進路の準備を進めてきました。進学する人や就職する人など様々でしたが、一人一人真剣に進路と向き合い放課後や昼休みに面接練習したりと受験対策に励んでいました。試験に向かう仲間に応援を送り、苦しい時期を共に乗り越えました。仲間が合格した時には、みんなで喜び合いました。喜び合った瞬間は一秒たりとも忘れることはないでしょう。

この三年間、有恒高校で過ごした日々の一つ一つが蘇ります。有恒高校で築かれた友情や思い出はこの先手に入れることができない宝物になりました。

これまで私達を温かく見守ってくれた地域の皆様、困っている時にたくさんアドバイスをくれたり、時に厳しく叱ってくれたり、優しく接してくださった先生方、本当にありがとうございました。そして十八年間育ててくれた保護者の皆様ありがとうございました。辛い時には優しく受け止めて、そばで見守ってくれたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

本日、私達は有恒高校から巣立ち、それぞれの道へ進みます。まだ、何が起こるかも分かりません。きっと、それぞれの胸の内には不安もあるでしょう。しかし、有恒高校で学んだことはこれから生きる上で力になるということを確信しています。

有恒高校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれること、また、本日ご来場の皆様のおかげで、ますますのご活躍をお祈りして、答辞とさせていただきます。

# 「別れの言葉」

(略)

三年前、私達は有恒高校に入学することを決意し、不安と期待に胸を膨らませ入学しました。最初は、みんな知らない人ばかりで仲良くなれるのか、勉強についていけるかとても不安でした。ですが、話してみたら、クラスみんなは、優しくすぐに打ち解けられることができ、楽しい学校生活が始まりました。一年生の最初の行事では、遠足がありました。歩いて山寺薬師や地滑り資料館などに行くのは、とても大変だったし、疲れたけどクラスの絆が深まったと思います。体育祭、文化祭は、初めて全校生徒とする行事で緊張しましたが、クラスみんなと楽しむことができました。二年生では、修学旅行に行つたことが印象に残っています。みんなで、初めて飛行機に乗って長崎に行きました。長崎では、陶芸作り、お昼には、中華街で友達と長崎ちゃんぽんを食べたり、夜には、ハウステンボスに行き噴水ショーを見たり、お城がライトアップされていてとても綺麗でした。友達やクラスみんなと一生記憶に残る楽しい思い出を作ることができて良かったです。

三年生になってからは、時間があつという間に過ぎて行きました。体育祭では全校ダンスがあり一人ひとり輝ける、素晴らしい体育祭になったと思います。最後の体育祭で優勝できて最高でした。文化祭は四年ぶりの一般公開で、多くの保護者の皆様、地域の皆様に来ていただきました。私達の文化祭を多くの人に楽しんでもらえて嬉しかったです。私も

最後の文化祭はとても楽しくて、三年間の中で一番印象に残っています。でも、もう体育祭や文化祭が出来ないと考えると寂しく思います。また、就職や進学に向け、各自が進路実現のために精一杯努力しました。先生方や保護者方々の助けを借りながらも、一人ひとりが頑張ったことは私達の成長に繋がったと感じます。今、振り返って見ると有恒高校で過ごした日々が蘇ってきます。楽しかったこと、苦しかったことも全部大切な思い出です。在校生の皆さん、この有恒高校で楽しい思い出をたくさん作ってください。また、また、困った時や悲しいことがあった時は、友達や先生方を頼ってください。必ず、皆さんの力になってくれるはずです。仲間も大切にしてください。そして、在校生の皆さんにこの学校を託します。今よりも、一人ひとり人輝ける素敵なお有恒高校にしていきたい。

三年間私達を暖かく見守ってくださいました地域の皆様、楽しい時は、一緒に喜び、時に厳しく叱って私達を導いてくださった先生方、ありがとうございます。そして、今日この日を迎えられたのは、私達を大切に育ててくれた保護者の皆様のおかげです。私達が悩んだ時、一番近くで支えてくれたり、相談のつてくれました。また、毎日の送迎も大変なのに欠かさずしてくれました。感謝しても足りません。本当にありがとうございます。私達は、まだ自立するまで時間がかかりますが、それまでお世話になります。

私達は、本日この有恒高校を卒業します。そして、一人ひとり別の道を歩んでいきま

す。これから、大変なこと、困ったことがあると思います。

そんな時には、有恒高校で学んだことを思い出して生きる力になると信じています。

これからも、有恒高校が素晴らしい歴史を刻んでいくことを期待しています。また、本日

ご来場の皆様のますますのご活躍をお祈りして、答辞とさせていただきます。

# 別れの言葉

(略)

思い起こせば三年前、期待と不安に胸を膨らませて入学した私たちは、先生方から多くの指導をいただきました。

一年生の時周りの人と話せず、クラスに馴染めていませんでした。新型コロナウイルスがあり学校にも行くことが少なくなりました。ですが、遠足などがありクラスの人と話す機会が増えて仲良くなりました。

二年生では行けないと思っていたのが修学旅行です。私達は長崎、福岡、佐賀に行きました。そこではその土地の歴史や食べ物、また平和公園で黙祷をしました。実際に原爆の被害に遭われた方からのお話を聞くことができとても貴重な経験となりました。

三年生では進路です。自分の進路実現に向けて本格的に取り組みました。特に面接練習やグループディスカッションの練習がとても大変でした。練習する期間が短く、覚えるのがとても大変でした。ですがいろんな先生と練習をしてすらすらと話せるように努力しました。本番では、練習の成果を発揮できグループディスカッションでは、自分の意見を具体的に言えました。

三年間私を支えてくださった担任、副担任の先生、校長先生、教頭先生、事務員の方、地域の皆様本当にありがとうございました。その御恩は一生忘れません。

私を育ててくださった両親。十八年間私をここまで成長できたのは両親のおかげで

す。ありがとうございました。私は進学なのでまだお世話になることもありますが引き続ききよろしく願います。

在校生の皆さん今まで私たちを支えてくださり、本当にありがとうございました。私たちは本日でこの有恒高校を去ることになりましたが、今まで私たちが教えてきたことと自分たちが今までこの高校で過ごしてきた中で培ってきた経験があればきっと有恒高校での伝統を閉ざすことなくこの先新たに入学して行くこととなる後輩たちへバトンをつないでいけるはずです。これからもこの学校の伝統を引き継げるように頑張ってください。

最後になりましたが、有恒高校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれることをお祈りして、答辞の言葉とさせていただきます。

# 「別れの言葉」

(略)

三年前、有恒高校へ入学し少しの不安と大きな期待を胸に教室へ入りました。

新しいクラスに馴染めるか、他校のクラスメイトと友人になれるか心配でした。

しかし、一カ月、二カ月と日を過ぎていくうちにだんだんとお互いのことがわかっていき不安がなくなっていきました。

一年生の四月、高校に入って初めての行事、遠足がありました。

遠足ではクラスメイトと歩きながら板倉の歴史を学び、クラスが入学当初よりも団結出来たと思います。

高校初めての体育祭では軍が赤白などの二軍編成ではなくクラスごとの五軍編成での実施でした。全校応援では学年を超え有恒高校として団結し盛り上がったと思いました。

十月には、初めての恒高祭がありました。新型コロナウイルスの感染予防のため一般公開はありませんでしたが、ステージ発表では三グループに分かれダンスを踊りました。グループのメンバーと放課後や授業などを使いダンス練習をしました。グループの中には普段あまり話すことがないメンバーもおり練習を機会に仲良くなることができました。

そんな楽しい日々が一年また一年と駆け足で過ぎ、あつという間に三年生になりました。この三年間で多くの思い出があります。私は二年生の時に行った修学旅行と三年生最後の恒高祭がとて心に残っています。

二年生の修学旅行では、福岡と長崎に二泊三日でいきました。

戦争のお話を聞いたり、資料館に行った。ハウステンボスや焼き物を作ったりしました。修学旅行で一番心に残っているのは、戦争のお話を聞いたことです。戦争の悲惨さや大変さ人々がどうなったかなど詳しく話して頂きました。今現在、戦争を生き抜いた方のお話が聞けることはとても貴重だと思いました。

三年生の最後の文化祭は、一般公開となり多くの保護者の方や地域の方にも来ていただきました。

午前の部の有志ステージ発表では、楽器演奏やダンス、歌などの発表、音楽選択の生徒による合唱がありました。

午後の部ではクラス企画で各学年で縁日やアメリカンカフェなどを出しました。三年生はお化け屋敷を教室で行いました。お客さんが多く来てくれており、とても嬉しかったです。高校生活最後の文化祭とても充実しており楽しかったです。

今、有恒高校で過ごした三年間の思い出がよみがえってきます。在校生の皆さん卒業までの一年、二年で楽しい思い出をたくさん作ってください。

時に大変な事があるかもしれませんが仲間や先生方と協力し頑張ってください。私たちは今日卒業します。在校生の皆さんにこの学校を託します。今までの有恒高校よりもっと素敵な高校にしてください。

これまで私達を温かく見守ってください。地域の皆様、校長先生をはじめとする職員の

皆様、そして優しく時に厳しく私達を支えて  
くださった保護者の皆様本当にありがとうございます  
ございました。

有恒高校で学んだことを活かしそれぞれの  
道に進んで行きたいと思えます。

有恒高校がこれからも素晴らしい歴史を刻  
んでいかれること、また、本日も来場の皆様  
のますますのご活躍をお祈りして、答辞とさ  
せていただきます。



# 別れの言葉

(略)

三年前の入学式から今日まで、三年間があつという間に終わってしまったこと、そしてこの仲間たちとの三年間の思い出が二度と戻つてこないものだと思うととても悲しいような、達成感があるような感じがします。

この三年間を振り返るとたくさん思い出がありました。不安しかなかった入学式。一学期の初めにある遠足は自分だけ予定があり行けなかったのですが遠足中にも関わらずテレビ電話をかけてくれ、応援してくれたのを今でも覚えています。二年生の修学旅行では運良く新型コロナウイルスの影響を避け、長崎のハウステンボスなどに行くことができました。そんなたくさんの思い出の中でも、特に三年生の体育祭では、応援団長としてクラスをまとめながら、一、二年生にダンスを教えるなど本当に大変な行事でしたが自分の成長にもつながりました。その結果、パフォーマンスもうまくいき、他の競技やリレーでも力を合わせて一位をとり、球技大会のバレーボールでも一位と二位をとることができ、総合優勝することができました。文化祭では初の一般公開があり今までにない特別な文化祭を三年生の最後に経験でき、とても良い思い出となりました。行事を自分たちらしく全力で楽しめたのも先生方や生徒会のおかげだと思っています。三年間このメンバーで過ごせてとても楽しかったのでその生活が終わると思うと、とても寂しく思います。それと同時に

に、先生方には様々なことを教えていただいたので感謝したいと思います。ありがとうございました。有恒高校で作られた思い出は私たちの成長に確実につながっていると思います。在校生の皆さん、どうか卒業するまでは有恒高校でたくさんの思い出を作り、一緒に過ごす仲間とこの学校での生活を大切にしてください。そして、今の有恒高校をさらに良くしてってください。期待しています。

これまで私たちを温かく見守ってくださいった地域の皆様、ともに喜び、私たちをここまで進ませてくれた先生方、本当にありがとうございました。そして、今日この卒業式を迎えられたのは保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。私たちはだんだん自立していき、いつかは親元を離れていきますが、それまではお世話になります。

本日、私たちは有恒高校から巣立ちます。不安はありますが、有恒高校で学んだことを少しでも生かして頑張っていきたいと思いません。

ご来場の皆様のみますのご活躍をお祈りして、答辞とさせていただきます。

# 別れの言葉

(略)

思い起こせば、入学してから今日までの三年間は本当にあつという間でした。何気なく過ごしてきた仲間たちとの時間は、今となつてはかけがえのない時間に思えます。有恒高校での充実した時間の中で、私たちは多くのことを経験しました。

三年前、真新しい制服に身を包み、新しい仲間と新しい環境に期待と不安を背負いながら入学しました。色んな学校行事を通して他学年との交流や、クラスの仲間とより親しくなることができました。二年生になり、クラスの仲間との関係も親しくなりお互いに冗談を言い合えるような関係になりました。修学旅行では前年よりもコロナウイルスの規制が緩くなり、九州方面へ行くことができました。長崎県のハウステンボスや自由行動の時、知らない土地での班の中で協力することの大切さを深く感じました。またその地域の歴史に触れたり、長崎の原爆資料館で戦争を体験した方から当事の体験談をお聞きすることができました。この三日間で仲間と協力することはとても大切だということ深く感じました。三年生になり、最高学年として他学年の手下となるように頑張りました。三年生は自分の進路について沢山考えました。自分自身の夢を実現する

ために多くの方々から助けを借りながら、一人一人がしっかりと夢を実現することができました。

この三年間、有恒高校で私達をサポートしてくださった、学校の先生、校長先生、教頭先生、事務の方、地域の皆様ありがとうございました。多くの方のおかげで私たちは安心して学校生活を送ることが出来ました。

いつも一番身近で見守ってくれた両親。どんな時もそばにいてくれてありがとう。十八年間こんな私を育ててくれてありがとう。これから親元から離れて暮らすことになるけど自分のやりたいことをしっかりと行い、一人前の大人になった姿を見せれるように頑張ります。

在校生の皆さん、先ほどは心のもった祝辞をありがとうございました。私達は今日で卒業しますが、四月からは皆さんが有恒高校の伝統を引き継ぎ、それぞれの目標へ向かって努力を重ねていってください。どんな時でも同じ目標へ向かう仲間と、それをサポートしてください。多くの先生方がいることを忘れず、高校生として残された時間を悔いのないものにしてください。

あつという間の三年間、楽しいことだけではありませんでしたが、どんな時も支えあい、お互いを高めあえる仲間とともに三年間の学校生活を送ることができて本当に幸せでした。時には壁にぶつかることもありましたが、そんな

日があつたからこそ今の私達がい  
ます。これから私達はそれぞれの  
道を歩んでいきますが、時には苦  
戦することがあると思います。で  
すが、今まで有恒高校で学んでき  
たことをしつかり活かし、自分の  
夢を実現できるように頑張りまし  
よう。

最後になりますが、学校生活を  
支えてくださったすべての方々に  
改めて御礼申し上げます。有恒  
高校の更なる発展を願つて当  
時の言葉とさせていただきます。

## 別れの言葉

今年は、暖冬の冬となりました。教室の窓からは暖かい日差しが照らし今年も春がやって来ようとしています。

本日はご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、私たち卒業生のためにこのような晴れやかで素晴らしい式典を挙行していただき、誠にありがとうございます。これからの未来に対して、期待や不安が入り混じる中、こうして無事旅立ちの日を迎えることができたのは、ご来賓の皆様、校長先生、先生方のおかげで無事旅立ちの日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

今、有恒高校で過ごした日々を振り返ると本当に色々な日々が思い出されます。

三年前の四月に有恒高校で入学式を迎え、お互いのことが全く分からず、新しいクラスに馴染めるか不安でいっぱいでした。そんな不安混じりの中、入学してから初めての行事である遠足がありました。行き先は山寺薬師、上り坂ばかりで長い道のりでした。周辺を探索していくにつれ、有恒高校はこんなにも美しい自然に囲まれているんだと思うようになります。豊かな自然のなかに健在する有恒高校を誇りに思っています。体育祭、文化祭では分担、出し物をクラスの皆で考えて決めていくにつれ、気がつくと入学後感じていた不安がいつの間にか無くなったように感じました。

二年生に上がり、学校生活に慣れた頃、修学旅行の時期になり、教室が旅行の話題で持ちきりでした。旅行当日になり、行き先である九州の街並みを仲の良い友達と散策したり、歴史に触れたり、とても有意義な時間を過ごしました。最終日の帰りのバスは楽しかった思い出を振り返りながら、家に帰ってから中々余韻が抜けませんでした。また、クラスの皆で出掛けたいと今でも思います。最高学年になり、体育祭では応援団を務め、後輩たちにダンスを指導しました。振り付けを言葉にして教えたり、練習時間にしっかりと動いてくれるか不安でしたが、同じ応援団の仲間と力を合わせて、後輩たちが動いてくれて本当に良かったです。

文化祭では、新型コロナウイルスの行動制限緩和により一般公開となりました。保護者の方々をはじめ、地域の皆さんが大勢来て頂

いたおかげで、当日の校内はとても賑やかで、今までにない活気に満ちた文化祭でした。ラストを飾る三年組のクラス企画はお化け屋敷を運営しました。資料集めや会場のセッティング。文化祭の前日はクラス全員が精いっぱい働き、皆の働きぶりをみてこれまでにない喜びを感じました。当日は子供から大人まで沢山の方々に来ていただいても嬉しかったです。また、有志企画では同じクラスの仲間とダンスを披露しました。当日までに練習室で何度もメンバーと動きを合わせたり、当日に着る衣装を決めたり、有志に出る事に決めて良かったと思っています。本番では練習通り披露する事ができてとてもやりがいを感じました。

最高学年に上がり、自分にとつてチャレンジする機会が増えたように思います。自分には向いてないから誰かに任せるのではなく、きつと自分自身が成長し、勉強できる良い機会だと思つて取り組んできました。自分が責任を持たなければならぬ担当だったり、活躍できるチャンスがたくさん待っているのがこの有恒高校の特権でもあります。在校生の皆さん、この学校でたくさん経験を積んでみてください。自分自身の発見、自信にも繋がります。困った時は同じ仲間や先生方を頼ってみてください。必ず力になってくれるでしょう。皆さんの力で今後とも、活気溢れる有恒高校になる事を願っています。

さて、文化祭も無事に終えて、進路実現に向けての活動が本格的に始まりました。自分自身が今まで学んできたこと、培ってきたことを發揮する時。自身が取り組んできたことを振り返ることが無かったので、まさに自分との戦いでした。夏休みの間は、履歴書きから面接練習、毎日のようにありました。時に逃げ出したくなることも多々ありましたが、苦難を乗り越えたおかげで地元で有名な企業に内定をいただくことができました。こうして成長できたのは先生方の存在があったからです。親身になって相談を聞いていたり、アドバイスしていただいたおかげで、何度も自分の力で這い上がり確実に一步一步前進することができました。先生方の助言や行動で、自分自身の不安や悩みと向き合い、闘うことができました。本当にありがとうございます。

この三年という時間は、あつという間で、当たり前だった日常に終わりを告げようとしています。この先、手に入れることのできな  
い沢山の思い出を有恒高校でもらいました。そばに居るのが当たり前で、他愛もない話を  
して笑い合った友達友人ともお互い別々の環境下で未来を切り拓いていくことになりま  
す。大好きな友人と離れ離れになるのは辛いです。大好きな友人と離れ離れになるのは辛  
いが、気持ちは同じ、不安とこれから  
の期待を胸に抱いています。またいつか会った時、「こんな事があったよね」と笑い話にな  
ることを待ち望んでいます。友人と過ごした中で得られた繋がりが、本校で学んだ事を糧に  
日々精進して参ります。

最後に、川合校長先生、および職員の皆様、保護者の皆様に改めて深く御礼申し上げます。有恒高校で得られた繋がりが、本校設立者、朴齋先生の教えである「三綱領五学規」を基に気持ちを引き締め励んでまいります。また、学んだ事を糧にこれまで温かく見守ってきて下さった皆様に報いる事ができるよう日々精進して参ります。

先生方のご健勝と、有恒高校のさらなるご発展を祈念し、卒業生の答辞とさせていただきます。